

被災地学校修学旅行支援事業について

～「えひめ愛顔（えがお）の助け合い基金」について～

県民、企業・団体等からの寄附が原資。

基金を活用した事業は、有識者等で構成する基金運営委員会の提言をもとに、被災者等のニーズに即した支援、愛媛らしい支援、思いやりあふれる支援を基本とする。

「被災地学校修学旅行支援事業」は当該基金を活用した事業で、被災地生徒を支援するもの。

（予算額：112,500 千円）

【事業概要】

目的及び趣旨

東日本大震災による被災地域（岩手県、宮城県、福島県）の高等学校等が、本県での宿泊を伴う修学旅行を実施する場合に、その経費の一部を助成することにより、安心かつ安全な修学旅行の実現や、被災地の生徒の「愛顔」を取り戻す一助とすることを目的とする。

事業の特徴...「学校間交流」

- ・すべての学校が、地元高校との交流を予定。高校生同士の絆を深めるきっかけづくり、地元高校生にとっては人を支えることの尊さを学ぶ貴重な機会となることを期待。
- ・学校間の打ち合わせにより、同学科の交流、体験学習（みかん狩り、砥部焼など）を通じた交流、地元観光資源のガイド、B級グルメ交流など、様々な交流が予定されている。

実施校

県名	学 校 名	人数	日 程
岩手県	大槌高校（大槌町）	118 名	10/29(土)～11/1(火)
宮城県	宮城県水産高校（石巻市）	147 名	12/14(水)～16(金)
	石巻好文館高校（石巻市）	214 名	3/15(木)～17(土)
	亘理高校（亘理町）	201 名	12/6(火)～9(金)
福島県	原町高校（南相馬市）	160 名	12/13(火)～16(金)
	小高工業高校（南相馬市）	161 名	11/13(日)～16(水)
	相馬農業高校（南相馬市）	94 名	11/17(木)～20(日)
	浪江高校（浪江町）	60 名	11/8(火)～11(水)
	浪江高校津島校（浪江町）	23 名	11/15(火)～18(水)
	双葉高校（双葉町）	72 名	1/25(水)～28(土)
合 計	3 県 10 校	1,250 名	（当初想定 of 最大人数）

人数には、引率教員及び震災の影響による転校生の復学想定者を含む。

日程左の 囲み数字は、来県順